

令和5年度 上田市立西内小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
知恵と ねばりと 思いやり	○自分や友達の良さや違いがわかり、互いを尊重できる子ども。 ○自分の思いや考えを表現できる子ども。 ○自分を鍛えチャレンジする子ども。 ○郷土を愛し、誇りを持つ子ども。
	今年度の重点目標
	ありがとう 西内小学校 『自ら 前進』 ～18名の子どもを全職員で育てる～

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学校生活全般		学校生活は楽しい
	知恵 (学習)	関心・意欲	めあてや課題をもって、進んで学習に取り組む
		表現力	書いたり話したりして、自分の考えを表す
		学力向上	授業で「わかった!」「おもしろい!」と思える
	ねばり (生活)	目標達成・努力	目標に向かって取り組む
		責任	係・清掃など自分の仕事に責任をもって取り組む
		あいさつ・返事	進んであいさつや返事ができる
	思いやり (相手意識)	協力・協調	友だちと協力して活動に取り組む
		互助	友だちと助け合って生活している
		人権意識	友だちの気持ちを大切にしている
	その他	読書活動	読書に親しむ
		体力向上	体力が向上するように取り組む
		地域学習	地域についての学習に取り組む
学校運営	情報・周知	学校だよりやホームページ、学年だよりで学校の様子を伝えている	
	相談・支援の環境	児童・保護者が相談しやすい体制をとっている	
	職能向上	教師としての力量を高めるための研修を行っている	

総合評価					
ほとんどの児童が楽しく学校生活を送っていることを保護者・児童・職員・地域の皆様の誰もが感じていることが評価アンケートから確認できた。西内小学校最後となる今年度は、本校の3本柱である「金管バンド活動」・「登り窯活動」・「地域自然活動」を中心に、年間通して学習してきた。地域の方や西内小にゆかりのある方にご協力いただき、地域のよさや西内小の宝について学びを深めることができた。丸子中央小との交流学习も各学年で年間通して行い、両校のよさを学び合う貴重な時間となった。また、交流を重ねるごとに徐々に緊張感もほぐれ、休み時間などには和気藹々と会話をする姿も見られている。残りわずかな日々も、西内小学校150年のアンカーとして有終の美が飾れるよう自ら前進していきたい。					
成果と課題	A	B	C	D	統合・進学に向けて
3つのチームや6年生から全校の取組につなげる発信を行い、活動の充実を図ることができた。さらに児童主体の活動をめざす。		○			異年齢の集団の経験を生かし、同年齢の集団でも、友だちと共に学び合い、お互いのよさを実感する経験を積み重ねて充実した学校生活を送れるよう支援する。
成果と課題	A	B	C	D	統合・進学に向けて
一人ひとりへの配慮・支援を充実させるための個別の指導計画を充実させてきた。		○			今年度作成した個別の指導計画を学校間、職員間で情報共有し、有効活用できるようにする。
意欲的に学習に取り組む児童の様子がある。仲間と学び合い、追究する力を育てる。		○			グループや集団で考え合う経験を積み重ね、さらに互いを認め合い、高め合う学習のよさを実感できる場を設定していく。
授業や交流学习、行事等を通して、発信する力をつけてきた。	○				大きな集団でも自分の考えを伝えたり、書いたりすることを継続して行い、さらに表現する力に磨きをかける。
自らの問いを解決しようと学ぶ姿が見られた。仲間と共に解決していく力をつけたい。		○			一人ひとりのつけたい力を明確にし、手だてを職員間で共有する。その子にとって「できそう」と思える状況をつくっていく。
年間通して、目標を持って自分たちなりに取り組む児童の姿が見られた。	○				児童の願いをもとに目標を設定し、自身の力で自己実現が図れるよう場面を設定していく。
当番活動の仕事を全校で分担し、任された仕事を責任をもって取り組むことができた。		○			児童会、生徒会活動を中心に自治活動を通して、集団の一員としての自覚と責任の意識を高めていく。
あいさつや返事の大切さを継続的に扱ったことで、子ども達の意識向上につながった。		○			地域の方々より、子ども達のあいさつのよさを教えていただいているので、今後もそのよさを伸ばしていく。
全校体育や閉校記念行事等で、協力しながら活動に取り組む姿があった。	○				大きな集団だからできる、友との協力や達成感を味わえる場の設定をしていく。
縦割りのなかよし班活動や総合的な学習の時間を通して、異学年で共に活動してきた。	○				同年齢の集団でも、友だちと共に学び合い、協力し合うよさを実感できるよう支援していく。
異年齢での支え合う雰囲気はあり、相手の立場を受け入れ、関わろうとしている。		○			人権同和教育に力を入れ、相手の立場を尊重し、共に認め合う集団形成をねらう。
ボランティアによる読み聞かせやビブリオトーク、児童会企画、読書週間により読書の環境が充実した。	○				ボランティアの協力を仰いだり、読書週間の取り組みを応援したりしながら読書に親しむ環境をさらに整えていく。
集団登下校や全校での体育学習、体みがき体操に年間を通して取り組んだ。		○			来年度よりバスでの通学になるので、体力の向上に重点をおいた取り組みを継続させていく。
地域の方より西内のよさや宝を学ぶ機会が充実した。	○				総合的な学習の時間や行事を中心に、継続的な地域の方との関わりや地域を知る学習の場を設定する。
毎月の学校だより、ホームページの随時更新、学年だよりの毎週発行を継続できた。	○				学校だよりや学年だより、ホームページによる発信を継続していくとともに、統合だよりも引き続き発信する。
毎月担任との面談を行い、長期休業明けにはSCや相談員との面談も実施した。		○			定期的に面談する機会を設定し、児童が相談しやすい環境づくりに努める。
全校体制で、互いに認め合い、よりより人間関係づくりはどうあったらよいか研究を深めた。		○			相手意識に立ったかかわり方について、すべての教科や日常生活の中で考える機会を設定していく。